

仏像の成り立ち

如来像

「如来」には、「修行をして悟りを開いた人」という意味があります。「悟りを開いた人」ですから、つまりそれは釈迦であり、また釈迦と同様に悟りを開いてブツダとなったものになります。修行をへて悟りを開いた姿ですから、派手な格好はしていません。如来像は、装身具などのない質素な出で立ちで、袈裟だけをまとっているのが特徴です。

また、悟りを開いた如来は人間以上の存在であることを示すために、32種類の特殊な表現（三十二相）を備えています。たとえば、髪の毛がちぢれて一つ一つが右巻きになっています（螺髪）。代表的な如来像には「釈迦如来」がいます。これは釈迦そのものです。「阿弥陀如来」は、極楽浄土の主で、鎌倉の大仏はこれにあたります。「毘盧遮那如来^{びるしゃなによらい}」は、宇宙全体である華嚴世界の主で、奈良の大仏はこれにあたります。



また、「大日如来」は、密教の主で、如来像のなかでは例外的に様々な飾りをまとっています。

菩薩像

「菩薩」というのは、悟りを求めて修行をしている人で、もうすぐブツダになれる、という段階にある人です。人間のそばで一緒に悟りをめざしていますから、人間にとって身近で親しみやすい存在です。

その姿も、人間と同じように、世俗的なさまざまな装身具を身に付けています。髪型は美しく結いあげられ、宝冠や首飾り、腕輪をして、美しい布をまとっています。

有名な菩薩としては「弥勒菩薩」があります。釈迦の入滅後56億7千万年後にあらわれて、人々を救ってくれると考えられている菩薩です。「観音菩薩」は、救いを求めるものを、あらゆる手段を使って救済してくれると考えられる菩薩で、そのため「千手観音」や「十一面観音」のような、手や顔の数がさまざまな姿で表されます。

コロナ禍で人類は1年以上病魔と闘っています。日本でも、ワクチン接種が医療従事者から始まり高齢者接種に移ろうとしています。1日でも早く接種が進み日常が取り戻せるよう祈るばかりです。

利用者の皆様も感染に最大限気を付けていただき、世界中がコロナに打ち勝つように、それぞれの信ずる神様などに祈りを捧げましょう。

山形霊園は清々しい気持ちでお参りしていただけるよう日々環境整備に取り組んでいます。ご意見、ご感想等がありましたら、お寄せいただきますようお願いいたします。

本年度も、皆様のご健勝であられますことを祈念しご挨拶に代えさせていただきます。

お知らせ

■ 営業日・時間

【3月～11月】

- 営業日：火曜日～日曜日（月曜日定休日）※月曜祝日の場合は火曜日定休日
- 営業時間：午前10時～午後4時

【12月～2月】

- 営業日：火曜日・木曜日・土曜日の週3日となります。
- 営業時間：午前10時～午後4時

■ お参り用の花販売について

- 春彼岸期間中
- お盆期間中
- 秋彼岸期間中

■ お願い

お参りの際には、お供え物はお持ち帰り頂くようお願いいたします。
ろうそくや線香の火は、火災の原因になる恐れがありますので消してからお帰りください。

■ 諸手続きについてのお願い

墓地使用者（契約者）や、連絡者の住所・電話番号などの記載事項に変更がありましたら、すみやかに霊園（023-625-2977）へご連絡をお願いいたします。

■ 墓地に埋葬する際の手続きについて

「埋葬許可証」を提出していただき、許可を得てから埋葬して頂くことになります。尚、前もって納骨予定日時が決定したら、事前に連絡をお願いいたします。

■ 骨箱、卒塔婆の処分について

- 骨箱のお焚き上げ料金は2千円をご負担願います。
- 卒塔婆のお焚き上げ料金は1千円をご負担願います。

■ 造花の散乱について

風害やカラスのいたずらにより散乱した造花は、当園にて回収させていただきます。

公益財団法人 山形霊園 理事長 葦原正憲
〒990-2332 山形市飯田五丁目25番7号
電話番号 023-625-2977
<http://www.yamagatareien.or.jp>